



尾 建 第 538 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

尾鷲市長 奥田 尚佳



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記のことについて、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

三重県尾鷲市

- 補助金・交付制度の簡素化と弾力的な採択基準の採用
- 高速道路料金の引き下げ等で現在ある道路の有効的な利用
- 地方にとって「命の道」である高速ネットワークの早期実現のための財源確保を

○現状

① 幹線道路の現状(陸の孤島など)について

この地域における唯一の幹線道路である国道42号が、平成16年の集中豪雨による崩落で、尾鷲 - 紀北間が寸断され「陸の孤島」となり、市民生活はもとより地域の産業活動が大きな打撃を受けました。

② 生活道路の現状(歩道・防災・耐震などの整備状況)について

街路を除く市内道路は、従来よりの幅員構成のままで改良拡幅等の整備が進んでおらず、特に通学路としての歩道整備が遅れており児童の安全確保が危惧されております。

本年9月の13号台風の集中豪雨により、市営清掃工場へのゴミ焼却運搬路として利用している国道425号が、山腹の崩落による交通止めにより市内のゴミ収集ができなくなり市民生活に支障をきたす事態が生じました。

③ 地域の現状(産業・雇用・高齢化状況など)について

市内には狭隘な道路沿いに形成されている集落密集地が点在しており、過疎化による人口減少とともに、事業所の撤退や商店の減少などの状況が生じております。また、雨量規制等で集落が寸断される状況が年数回発生しており、有事における集落間の連携がとれず、地域の安全確保に支障となっている。

○課題

① 代替路線の確保、災害に強い道路

災害に強い道路として、近畿自動車道紀勢線・熊野尾鷲道路の全線早期完成を望む。

② 地域に促した有効的な通学路の歩道整備、災害に強い道路整備

③ 熊野尾鷲道路を核とした集落を連結させる国道311号を、雨量規制のない常時活用できる生活道路としての整備促進

① うみ、やまを活かした豊かさを創造するまちづくり

広域幹線道路網の整備を行うことで、うみの資源・やまの資源・まちの資源の活用など企業経営の支援

② 健やかで、いきいきと暮らせるまちづくり

広域幹線道路網の整備を行うことで、少子高齢化が進むなか高度医療施設への通院可能

③ 自然と共生して、安心してらせるまちづくり

生活安全面において、
道路規格の高い道路整備を行うことで、救急搬送時の患者への負担低減
災害に強い道路整備を行うことで、消防活動の強化及び他地域との連携可能

④ 次世代につながる人と文化をはぐくむまちづくり

広域幹線道路網の整備を行うことで、熊野古道や海洋深層水など恵まれた自然環境がある東紀州地域への交流活動の充実促進

⑤ 快適でだれもが住み続けたいまちづくり

幹線道路・生活道路・道路環境の整備により、適正かつ合理的な土地利用の推進を図る

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

三重県尾鷲市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	広域幹線道路の整備 ・ 近畿自動車道紀勢線・熊野尾鷲道路の早期完成 ・ 国道425号における国道災害防除事業の推進 ・ 地域の集落を結ぶ重要路線である国道311号を通行止めのない災害に強い道路に 横断施設の整備 登坂車線の整備	都市圏との新たな交流促進により、地域産業への振興、企業立地促進 通学路の安全性向上 山間部での安全性向上	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	歩道の整備 ・国道42号・矢ノ川長尾～大曾越	遊泳児童の安全性向上	